

大雪山の火山活動解説資料（平成 23 年 1 月）

札幌管区気象台
火山監視・情報センター

火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。
平成 19 年 12 月 1 日に噴火予報（平常）を発表しました。その後、予報警報事項に変更はありません。

○ 活動概況

- ・ 噴煙及び熱活動（図 1～2）
旭岳地獄谷爆裂火口の噴煙の高さは火口縁上 200m 以下で、噴煙活動は低調に経過しました。
- ・ 地震活動（図 1、表 1）
今期間発生した火山性地震は 18 回で、地震活動は低調に経過しました。
火山性微動は観測されませんでした。

表 1 大雪山 地震・微動の月回数（図 3 の旭岳姿見東で計数）

2010 年	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月
地震回数	20	20	8	9	18
微動回数	0	0	0	0	0

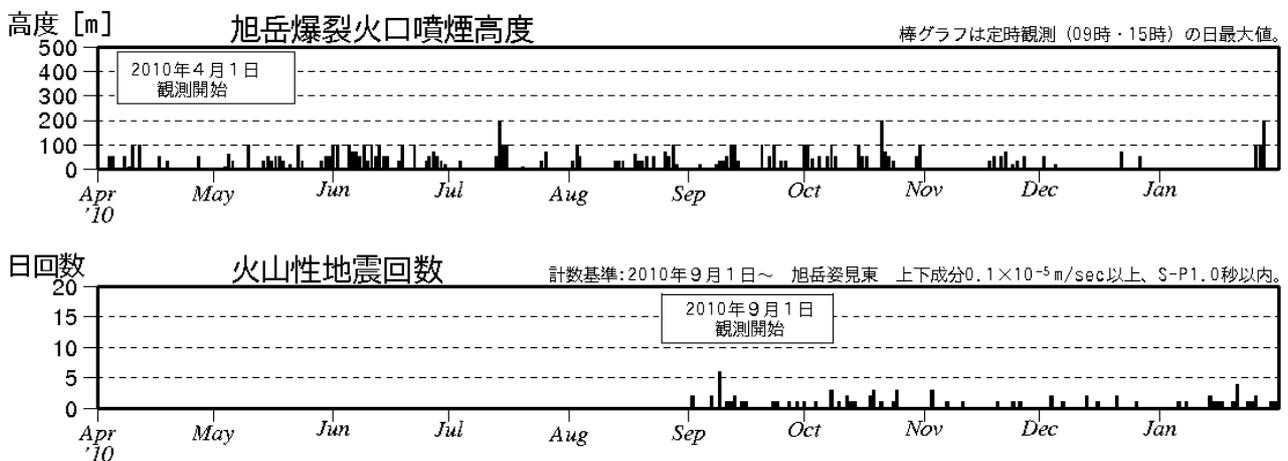


図 1 大雪山 最近の火山活動経過図（2010 年 4 月～2011 年 1 月）

この火山活動解説資料は札幌管区気象台のホームページ(<http://www.jma-net.go.jp/sapporo/>)や気象庁のホームページ(<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>)でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成 23 年 2 月分）は平成 23 年 3 月 8 日に発表する予定です。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 50mメッシュ（標高）』を使用しています（承認番号 平 20 業使、第 385 号）。



図2 大雪山 旭岳地獄谷爆裂火口からの噴煙の状況 (1月28日)
忠別湖東遠望カメラ (旭岳地獄谷爆裂火口から西南西 13.3km) による。
赤丸内が噴煙で、高さは火口縁上約 200m。

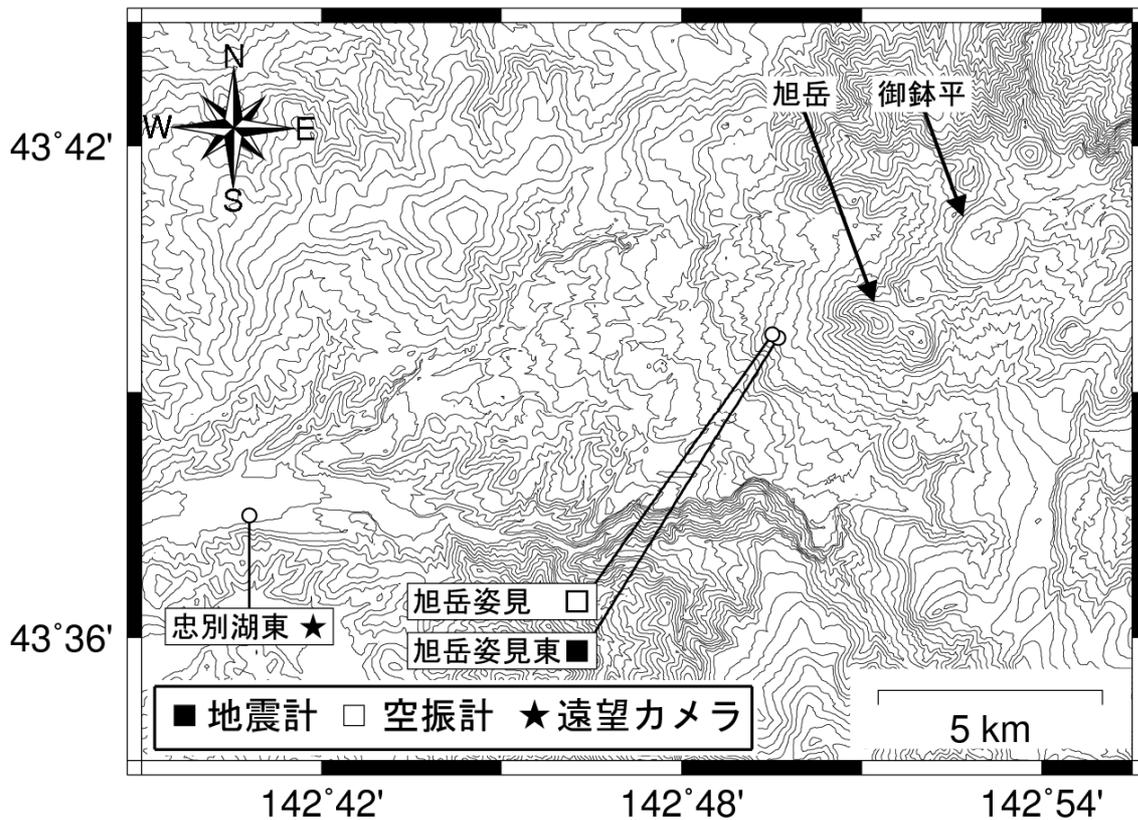


図3 大雪山 観測点配置図